

経営協議会議事録
(平成28年度第4回)

平成28年11月14日（月）
13時00分から14時35分まで
法人本部3階「第一会議室」

議事

I 協議事項

- 1 平成29年度学内予算編成方針策定上の課題について
- 2 国立大学法人山形大学職員給与規程等の一部改正(案)について
- 3 国立大学法人山形大学クロス・アポイントメント制度に関する規程の一部改正について
- 4 米沢キャンパス学生寮整備計画について

II 報告事項

- 1 国立大学法人山形大学の平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
- 2 平成28年度財務状況について（上半期分）
- 3 平成28年度国立大学改革強化推進補助金（総合支援型）について
- 4 地域科学技術実証拠点整備事業（平成28年度第2次補正予算）について
- 5 大学院入学定員充足率の経年変化について
- 6 平成29年度山形大学推薦入試・社会人入試・AO入試等の志願状況について
- 7 就職内定状況（10月末現在）について
- 8 会計検査院平成27年度決算検査報告について
- 9 キャンパス長等の選考について
- 10 職員の懲戒について

III その他

- 1 人件費の抑制について
- 2 国立大学法人における財務状況について
- 3 次回開催（平成29年1月23日（月））について

出席者

議長	小山清人					
委員	有馬朗人	相澤益男	上田準二	黒田昌裕	園部 稔	高橋まゆみ
	町田 睿	吉本高志				
	安田弘法	久保田功	大場好弘	阿部宏慈	萩原 均	根本建二
監事	渡辺 均	竹内千春				

列席者 総務部長 財務部長 企画部長 施設部長 教育・学生支援部長
エンrollment・マネジメント部長 小白川キャンパス事務部長 飯田キャンパス事務部長
米沢キャンパス事務部長 総務部総務課長

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告の後、前回議事録が確認された。

I 協議事項

1 平成29年度学内予算編成方針策定上の課題について

萩原委員から、平成29年度学内予算編成方針策定上の収入及び支出の現状分析及び課題について、資料1に基づき説明があった。また、次回以降の本会議で平成29年度学内予算編成方針を協議する予定の旨付言があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・第3期中期目標期間の取組構想において、各大学は文部科学省から数値化することが求められ、無理をして数値を設定したのではないかと思う。今回予算を策定する際に、数値目標を達成することが目的化している部分があるのではないかと思われるので、是非見直しをしていただきたい。数値目標は、その数値を達成することによって、山形大学の強み、特色を生かした機能強化を、どのように実質化できるかが本来の目的であるので、そこをきちんとリンクしていただきたい。(相澤委員)
- ・数値自体が目的とならないよう注意し、機能強化に努めていく。(萩原委員)
- ・自己収入を数値化する際にも、本来の目的と整合性があるのかを慎重に検討いただきたい。また、自己収入が昨年度と比較してどのようになったのかが分かりにくい。さらに、外部資金会計が大学一般会計における収入とどのように関連するかも分かりにくい。大学全体の総収入が、自己収入の数値目標の中で重要となってくるので、この点は明確にしておいた方が良く考える。(相澤委員)
- ・外部資金において、寄附講座が重要となってきたが、寄附講座をもっと見えるように資料を作成した方が良い。(吉本委員)
- ・米国の州立大学において研究成果を上げている大学は、自己資金の運用で研究資金を確保する仕組みになっている。一方、日本の国立大学においては、財政が厳しい中で、運営費交付金の一部から基幹研究費を支出しているが、今のレベルでは日本の科学技術は欧米には追いつかない。そのため、大学は研究資金の確保を本気になって考えなければならず、共同研究や寄附金集めの専門職員を置き、研究資金や競争的資金を集めていかなければならない。(黒田委員)

- ・円グラフの中に運営費交付金の収入や授業料収入、それ以外の収入といった大きな枠での構成比を、収入の全体像を表す指標として示していただきたい。大学の収入、支出の関係性を他大学と比較する際にも重要となるため、検討いただきたい。(相澤委員)

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、予算編成方針についてはご意見いただいた内容を踏まえ、原案に基づき進める旨了承された。

2 国立大学法人山形大学職員給与規程等の一部改正(案)について

阿部委員から、一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正への対応方針として、本学職員に係る給与について、本学の財政状況を勘案しながら所要の改正を行う予定である旨、資料12に基づき概要の説明があった。

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、方針については了承され、法律等の一部改正が決定後、持ち回り会議で協議することとされた。

3 国立大学法人山形大学クロス・アポイントメント制度に関する規程の一部改正について

阿部委員から、本学のクロス・アポイントメント制度の見直しに伴い、所要の改正を行うものである旨、資料2に基づき説明があった。また併せて、クロス・アポイントメント制度適用者の拡大を図り、本学の教育、研究及び産学連携等の機能向上を図るため、平成28年11月9日開催の役員会において、参考資料のとおり推進経費を配分する方針とした旨報告があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・クロス・アポイントメントの対象者として考えると、相手方機関で働くことによって、本人にメリットがないと制度が広がらないと考える。また、クロス・アポイントメント制度を活用した際、所属は、どちらになるのか協定で定めるのか。(黒田委員)
- ・クロス・アポイントメントに関する所属等については、その都度、相手方機関と取り決める予定である。(議長)

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

4 米沢キャンパス学生寮整備計画について

安田委員から、米沢キャンパス学生寮の老朽化に伴い、新たに整備する学生寮の概要及び事業手法等に関して、資料9に基づき説明があった。

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

II 報告事項

1 国立大学法人山形大学の平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について

久保田委員から、本学の平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について、国立大学法人評価委員会から資料3-1のとおり照会があり、一部表記等の修正を文部科学省に回答した旨報告の後、これまでの評価結果推移について資料3-2に基づき説明があった。

次いで、本件に関して、以下のとおり質疑応答があった。

- ・評価において注意された点は無かったのか。(吉本委員)
- ・現在のところ、特段大きな指摘は無かった。(久保田委員)

- ・評価を受ける側の立場としては、この評価は毎年行った方が良いのか、2～3年に1度の方が良いのか。(有馬委員)
 - ・本評価委員会においては、各年度毎に目標を策定しており、毎年評価を受ける仕組みになっていると捉えている。(久保田委員)
 - ・評価のための作業負担があるため、減らすことができればありがたい。(議長)
- ・平成22年から27年までの評価は、自己評価としてどのように考えているのか。また、他大学と比べてどのような位置づけになるのか。(上田委員)
 - ・他大学と比べ良い方の評価ではあるが、自己評価では5の評価を目指せるものがあったと考えている。(議長)
- 2 平成28年度財務状況について(上半期分)

萩原委員から、運営資金の執行状況、外部資金の受入状況及び資金残高推移状況等について、資料4に基づき報告があった。
 - 3 平成28年度国立大学改革強化推進補助金(総合支援型)について

大場委員から、本学のIR体制の強化のため、平成28年度国立大学改革強化推進補助金(総合支援型)に資料5のとおり申請した旨報告があった。
 - 4 地域科学技術実証拠点整備事業(平成28年度第2次補正予算)について

大場委員から、本学の有機材料システムに関して、地域科学技術実証拠点整備事業に資料6のとおり申請した旨報告があった。
 - 5 大学院入学定員充足率の経年変化について

大場委員から、前回の本会議で意見のあった直近5年の各研究科毎の入学定員充足率について、資料7のとおり取りまとめ、定員充足率が低い研究科については現在対応を進めている旨報告があった。
 - 6 平成29年度山形大学推薦入試・社会人入試・AO入試等の志願状況について

大場委員から、11月7日に確定した各入試区分毎の志願状況について、資料14に基づき報告があり、各学部各学科の志願者数等について委細説明があり、次いで平成29年度大学入試センター試験の試験場毎の志願者数について報告があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のとおり質疑応答があった。

 - ・社会人入試について、社会人に対する入試広報は行っているのか。退職者や高齢者の学び直しなど、大学院へ入学して学びたい人のニーズはあると思う。(高橋委員)
 - ・今後の入試戦略として、現在検討しているところである。(大場委員)
 - 7 就職内定状況(10月末現在)について

安田委員から、10月31日現在の就職内定状況について資料8に基づき報告があり、各学部・研究科等における内定状況や傾向について委細説明があった。
 - 8 会計検査院平成27年度決算検査報告について

萩原委員から、会計検査院における国立大学法人が大学に設置する附属病院の運営に関する所見について、資料13に基づき報告があった。

9 キャンパス長等の選考について

議長から、小白川キャンパス長及び理学部長について、資料10のとおり決定した旨報告があった。

10 職員の懲戒について

(「国立大学法人山形大学職員の懲戒の手続きに関する規程」
第32条第2項の規定により非公開)

III その他

1 人件費の抑制について

人件費の抑制に関して、以下のような意見があった。

- ・国立大学法人への運営費交付金が減少し、その結果として人件費が抑制され、教員が減っていくことは、大学院の入学者を確保できないことと関連し、修了後の就職、若手研究者の雇用及びポストクの問題などが要因としてあると考える。(有馬委員)

2 国立大学法人における財務状況について

国立大学法人における財務状況について、以下のような質疑応答があった。

- ・長期的な観点から、財政的な問題がこれから重要になってくる。設備投資などは単年度予算では難しいため、複式簿記のように民間人でも客観的に財務状況が分かるような仕組みを作っていくことが、これからの国立大学には必要なことではないか。(町田委員)
- ・大きな宿題として捉えており、今後分かり易くするよう努力させていただく。(議長)

3 次回開催(平成29年1月23日(月))について

議長から、次回は平成29年1月23日(月)に開催することとしたい旨説明があった。

(配付資料)

前回 (平成28年度第3回 H28.9.16) 議事録

資料1 平成29年度学内予算編成方針策定上の課題

資料12 国立大学法人山形大学職員給与規程等の一部改正(案)について

資料2 国立大学法人山形大学クロス・アポイントメント制度に関する規程の一部改正について

資料9 米沢キャンパス学生寮整備計画の概要

資料3-1 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について

資料3-2 山形大学評価結果推移一覧表

資料4 平成28年度財務状況について(上半期分)

資料5 平成28年度国立大学改革強化推進補助金(総合支援型)計画調書

資料6 地域科学技術実証拠点整備事業

資料7 大学院入学定員充足率の経年変化について

資料14 平成29年度山形大学推薦入試・社会人入試・AO入試の志願状況

資料8 平成28年度卒業予定者の内定状況調

資料13 平成27年度決算検査報告

資料10 小白川キャンパス長の就任について

資料11 職員の懲戒について(報告)

※回収資料